

EK-1A 2013 3 Band CW QRP Transceiver

Operating manual



仕様:

サイズ： 120×51×103 mm

重さ： 約 420g (電池を除く)

動作電圧： 9-16VDC

消費電流： RX= 120-130mA TX=0.8A 12VDC

動作周波数

RX:7.0-16MHz

TX: 7.0-7.30MHz、10.10-10.15MHz、14.0-14.35MHz。

IF DDS: 60MHz

ディスプレー： 0802 LCD

出力： 4-5W 12VDC

サイドトーン： 700Hz

キーヤー： 組み込み、早さ可変

周波数メモリー： 10

接続

外部の電源

9 – 16 の V DC 電圧またはバッテリーを (12VDC) のコネクタに接続することができます。この装置は極性保護回路を持っています。

内部のバッテリー電源

型番 18650 といわれるリチウム電池パックのような 12V どのようなバッテリーパックでも使うことができます。

リチウム電池には特別な充電器を使う必要がありますので、リチウム電池パックを内蔵した時には、普通の DC 外部電源を接続してはなりません。

ヘッドホーン

ステレオヘッドホンはインピーダンス $8 \sim 32 \Omega$ のものをヘッドホーンポート (PHONE) に接続します。

アンテナ

どのようなアンテナでも同調がとれていれば、BNC コネクタによって直接アンテナ (ANT) と接続することができます。同調のとれていらないアンテナの場合には、アンテナチューナーを挿入して調整する必要があるでしょう。

キー/パドル

EK-1A は、どんなタイプのキーが使われているか、電源投入時に自動的に判断する機能を持っています。そして、スクリーンに「Paddle」または「Hand-KEY」と表示されます。プラグのリングにはパドルのダッシュ、またはストレート・キーの GND を接続します。

プラグのスリーブ (たもと) はパドルの GND を接続してください。

ストレート・キーのためにリングとスリーブを接続してください。

パワーアップの前に、プラグを差し込んでおかなければなりません。



• パドルの dot またはキーの接点に接続

• パドルの dash またはキーの GND に接続

• パドルの GND またはキーの GND に接続

操 作



左側にあるこのボリュームは反時計回りに回しきるとスイッチが切れます。時計回りに回すとスイッチが入り、音量が増加します。(ノブをあまり回さずスイッチを入れただけの状態でも結構な音量です。改善の余地がありそうです。)

電源スイッチと音量



VFO モードで周波数を変更し、メモリーモードで記憶域(周波数帯)を変更します。

(キーヤーのスピード変更にも使用されます)

(押す毎に周波数の設定桁を 1kHz 100Hz 10Hz に変更します)

(2秒以上押し続けると 100kHz の設定桁になります)

同調、ステップ

V/M/SAV

メモリーモード(MEM)とVFOモードの切り替えに、このボタンを使用します。

LCDスクリーンには「M-*」または「V-*」(* 0-9の数値)が表示されます。

メモリーモードでは、調整ノブは、記憶域を変更するために使われます。

VFOモードにおいて、調整ノブは、周波数を変更するために使われます。

V/M/SAVボタンを2秒間押していると、LCDスクリーンにSAVと表示され、現在の周波数とモードが記憶域に記憶されます。

RIT/MODボタン

RIT機能に入ると、また終了するために、このボタンを押してください。「R-」が周波数ディスプレイの中間に表示されるでしょう。

RITモードの中で、右回りに調整ノブを回すと、周波数が上がり、(上の矢印を表示)調整ノブを逆時計回りに回すと、周波数は下がります(下の矢印を表示)。(送受の周波数が同じ場合には(R-)の表示)

RIT/MODを2秒間押していると、キーヤースピードを変更モードに入ります。

LCDに現在のキーヤースピードが表示され、調整ノブを回して変更します。このモードから抜け出すためにはRIT/MODを2秒間押し続けてください。

周波数同調ステップの変更

軽く調整ノブを押すことで 10Hz、100Hz、および 1KHz と調整ステップを切り替えることができます。

ステップを変更したとき、2 回スクリーン上で点滅する桁が、現在操作している周波数の桁です。

もし 2 秒間調整ノブを押していると 調整ステップが 100KHz になります。(RIT モードの場合は 10Hz および 100Hz)。

もし MEM モードの中で調整ステップを切り替えると、自動的に VFO モードに変わらでしよう。

送信

7.00-7.30MHz、10.100-10.150MHz、または 14.00-14.35MHz の周波数で送信すると、LCD に TX と表示されます。周波数がハムバンド外の場合には「NO」と表示されます。

Youkits

2013-7-30

2013.11 XRQTechLab

※十分に注意して訳しましたが、疑義のある場合には原本に当たってください。

※現段階で EK-1A の operating manual は公表されていないため、EK-1B のマニュアルを流用しています。

※青字部分は XRQTechLab がこのキットを組み立てる際に気づいたことを勝手に挿入したものです。

XRQTechLab は YouKits と何ら営業的な関係はありません。このキットを楽しませてもらっている一人です。Hi

QRP CW 活動の楽しさに、少しでも多くの方が参加してくださることを願っております。